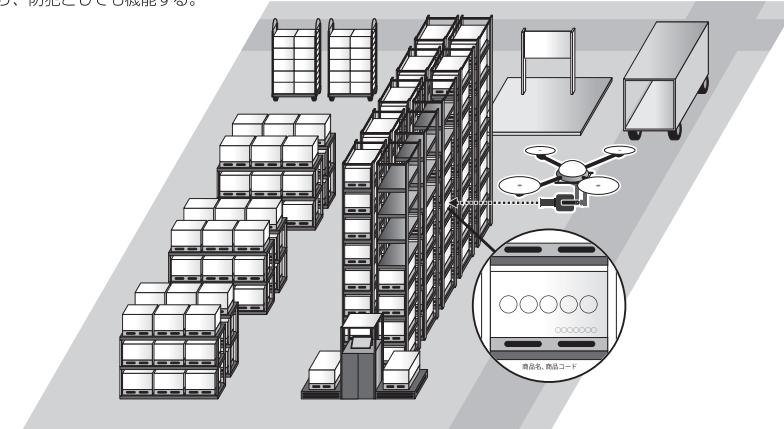


UAVを使用した物流管理

近年注目されているドローンですが、物流面でもその力を遺憾なく発揮します。自動飛行を可能にすることで誰でも簡単に操作でき、安全かつ確実に業務を進めることができます。日々進化を続けているドローン。その用途の幅は計り知れないものがあります。

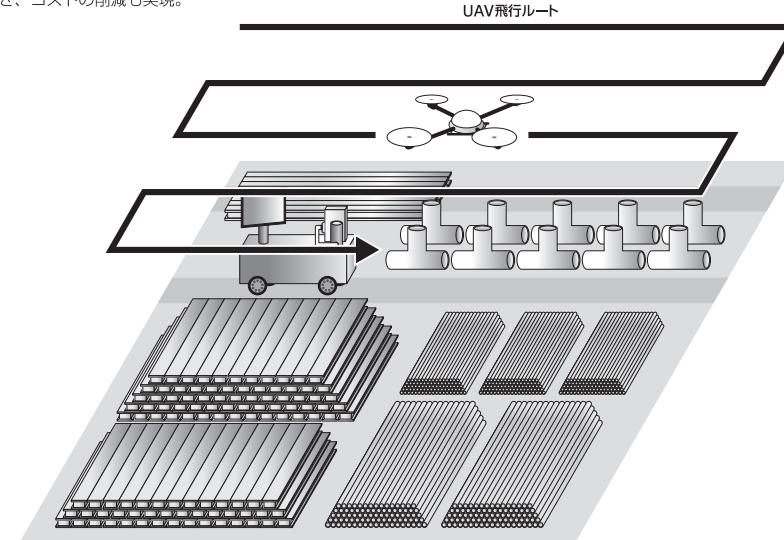
①余剰資材の圧縮

- システム上の在庫の不一致や大量の廃棄マテリアルの削減のため、数十万点ある資材にICタグを装着し、上空から無線通信で資材の所在を確認することを可能にする。
- GPS機能を使い、事前に飛行ルートを記憶させれば人の操作なしで飛行が可能。上空からICタグの情報を読み取るほか、同時に撮影も可能であり、防犯としても機能する。



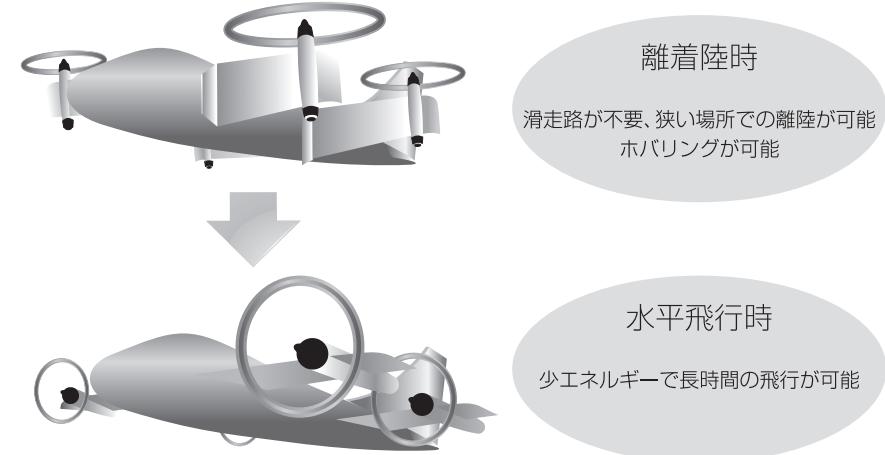
②簡単自動倉庫

- 建築工事に合わせた資材の最適な配置のマネジメントが可能。物流拠点の在庫量をリアルタイムで把握することで、必要なタイミングで在庫の補充や輸出、保管ができる。作業精度を向上させ作業者の属性（国籍・年齢など）によらず、一定の業務品質の維持をしながら効率化でき、コストの削減も実現。



③緊急物資の搬送や離島への輸送インフラの拡大

- 災害現場への救援物資の輸出や、緊急を要する現場で医療薬品の輸出ができる。海上遭難者の救出をするため、現場に急行して救命浮環を投入することが可能。インフラが整備されていない離島や災害で立ち入ることができない場所でも、撮影機能を使いリアルタイムで負傷者の位置を確認し、救出することができる。
- 伝染病が蔓延して人の出入りが制限される事態が発生した場合などにも、遠隔地域での物資輸送がることができる。
- 離島への軽貨物輸送インフラの拡充にもつながり、定期船航行時間外の軽貨物輸送手段の補完が可能。
- マルチコプターと固定翼の両方の利点を兼ね備えたオスプレイ方式で、離陸時ではプロペラ部分を上に向けたマルチコプターとして機能を持ちながら空中制止（ホバリング）も可能とし、非常に少ないエネルギーで効率よく運用できる。



④産業ソリューションMAP

①インフラ保守 <ul style="list-style-type: none">・橋梁点検・トンネル内部点検	②自然災害対応 <ul style="list-style-type: none">・トンネル崩落・火山災害・土砂崩れ・洪水被害調査	③救助 <ul style="list-style-type: none">・山岳遭難(登山者)・道迷い遭難(山菜取り)・水難者探索・救助・津波被害調査	④災害事故対応 <ul style="list-style-type: none">・トンネル内火災・プラント火災・ビル火災・交通事故現場検証
⑤設備メンテナンス <ul style="list-style-type: none">・プラント保守(高所作業)・施工計画調査・建造物3Dモデル制作	⑥警備(セキュリティ) <ul style="list-style-type: none">・工場内立ち入り監視・工場内高所定点監視・侵入者追跡・立てこもり事件偵察突入支援・不法投棄監視	⑦資材管理 <ul style="list-style-type: none">・プラント資材管理(RFID)・プラント資材管理(画像処理)・港湾等の貨物船積載物検査	⑧空撮 <ul style="list-style-type: none">・イベント会場空撮・各種TV番組制作・各種映画制作・各種イベント記念撮影
⑨農畜産業 <ul style="list-style-type: none">・生育調査(葉緑素分析)・農薬散布・家畜分布調査・生態調査	⑩環境調査 <ul style="list-style-type: none">・PM2.5汚染計測&拡散予測・海水、湖水の汚染調査	⑪その他 <ul style="list-style-type: none">・地雷発見、除去支援・空港のバードストライク対策・小型貨物輸送(物流)	

